

2.5 株式会社タイヤリサイクル北海道

2.5.1 事業者情報

名 称	株式会社タイヤリサイクル北海道			
本社住所	〒007-0890	札幌市東区中沼町45-55		
資本金、出資金	40,000 千円			
従業員数	6 人			
設立年月日	平成 10 年 2 月			
URL				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類、金属くずの収集運搬業 ・廃タイヤの破碎と選別、ゴムホース、コンベアベルトの切断などを行っている中間処理施設 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 タイヤリサイクル北海道		
	担当者名	平間 修		
	連絡先	電話番号	011(791)5349	
		FAX	011(791)5342	
E メールアドレス		bz260345@bz04.plala.or.jp		

2.5.2 技術情報

キーワード	廃タイヤ・ゴムチップ			
技術名称	廃タイヤ32分割破碎、コンベアベルト、ゴムホース切断			
技術の分類	収集・運搬、破碎・選別、切断			
目的・用途	廃タイヤ・チップは製紙会社、セメント会社などで燃料として使われています。			
特長	石炭などの化石燃料より安価でカロリーが高い			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>●ビードワイヤー採取機 ●TB(トラック・バス)・LT(小型トラック) タイヤ自動破碎機 ●TB(トラック・バス)・LT(小型トラック) タイヤ自動切断機 ●PC(乗用車)タイヤ自動破碎機 ●PC(乗用車)タイヤ自動切断機 ●製屑機</p>			
処理フロー図	<p>廃タイヤ切断工程図</p> <p>TB(トラック・バス)・LT(小型トラック) → 2分 → TB-LTタイヤ自動破碎機 → 16分 → TB-LTタイヤ自動切断機 → 32分 → TB-LTタイヤチップストックヤード → トラック → タイグチップ搬出 → TE・LTチップ</p> <p>PC(乗用車)タイヤ → 2分 → PCタイヤ自動破碎機 → 16分 → PCタイヤ自動切断機 → 32分 → PCタイヤチップストックヤード → トラック → タイグチップ搬出 → PCチップ</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	原形のまま、泥などが入っていない
	一廃・産廃	その他金属くず(品目:鉄及びアルミホイール)	受入条件、形状	廃タイヤにホイール組みされている物のみ受入
供給資源・製品	廃タイヤ・チップ		形状	32分割、16分割(小さいサイズのタイヤ)で6インチぐらいに切断

	廃タイヤ・チップ		形状	建設用タイヤ、コンベアベルトなどは一枚刃でデマンドサイズに切断
	金属くず		形状	原形のままで、出荷
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	排出される廃タイヤは燃料として再生利用される。鉄及びアルミホイールは再資源として有効利用される。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・販売価格:6 インチ片 2,000~3,000 円 発熱量:8,000kcal(PCR タイヤ)	
	その他		全国で唯一、タイヤ販売会社が中心となって運営されている。	

2.5.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃タイヤ	3,000	2,600	t
受入可能量	廃タイヤ	-	6,000	t
販売実績量の推移	廃タイヤ	3,200	2,500	t
	鉄くず	10	80	t
主な調達先	主にタイヤショップ、カーディーラー、ガソリンスタンド、運輸など			
主な供給先	主に製紙会社、セメント会社など			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社で収集運搬車両を所有(2 台) ・TBタイヤ専用ビードワイヤー 抜取機を設置 			

13.1 株式会社 INB プランニング

13.1.1 事業者情報

名 称	株式会社 INB プランニング			
本社住所	〒474-0001	愛知県大府市北崎町駒場 56-3		
資本金、出資金	74,000 千円			
従業員数	20 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL	http://www.inbplan.co.jp			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・大手ゴム企業の生産工程で品質管理上オフスペックとなったゴム中間原料（未加硫ゴム）を原料として、当社独自の技術力によりリサイクルゴム製品を製造販売を行っています。 ・バージンゴム原料を混練りして、ゴム中間原料をゴム成型会社に販売しています。 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業本部営業化		
	担当者名	岩渕 光昭		
	連絡先	電話番号	0562-45-6966	
		FAX	0562-45-6967	
E メールアドレス		m_iwabuchi@inbplan.co.jp		

13.1.2 技術情報

キーワード	未加硫廃ゴム・再資源化・ゴムマット		
技術名称	未加硫廃ゴムの再資源化		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	道路工事用ゴムマット・牛床マット		
特長	海外産廉価ゴムマットと競合できる価格と数倍の強度を持つ高い品質		
設備等の写真			
処理フロー図	原料集荷→受入検査・配合設計・配合試験→前処理→混練→成型(加硫)→製品		
廃棄物の種類	有償	ゴムくず(未加硫廃ゴム)	受入条件、形状 加硫していないこと・金属等の異物混入が無いこと
供給資源・製品	ゴムマット類		形状 販売先との打合せの上決定
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> ・当社が該当事業を始める前は、産業廃棄物として埋立・焼却処分が一般的であり、その処分費用は¥10/kg～¥50/kgが企業の負担となっていました。 ・当社は、排出企業側に分別と管理の徹底を図ることにより、有価物として引き取ることを提案し、資源循環システムを構築しました。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> ・未加硫廃ゴムとバージン材を原料とした其々のゴムマットのCO2排出量を比較した場合、1.86 kg CO2/kg⇒4.10 kg CO2/kgと約55%のCO2削減に繋がることが証明されています。 ・当社Rマットはバージン原料ゴムマットとほぼ同等の品質を持ち、海外産再生マットと比べ数倍の強度と寿命を持つと評価されています。
	その他	例)受賞歴、見学受入者数等	<ul style="list-style-type: none"> ・2006 愛知環境賞優秀賞受賞 ・約100名の施設見学者受け入れを実施

13.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	未加硫廃ゴム	非公開	非公開	トン
受入可能量	未加硫廃ゴム	-	非公開	トン
販売実績量の推移	ゴムマット・未加硫ゴム原料	非公開	非公開	トン
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

15.2 関西タイヤリサイクル株式会社

15.2.1 事業者情報

名 称	タイヤガス化リサイクル施設(関西タイヤリサイクル株式会社)			
本社住所	〒671-1188	兵庫県姫路市広畑区富士町 1 番地		
資本金、出資金	10000 千円			
従業員数	46 人(H24 年度)			
設立年月日	平成 15 年			
URL	http://www.nssmc.com			
事業概要	<p>同施設にて原料となるタイヤは、外熱式ロータリーキルンに投入し、キルン内にて熱分解し、油とガス、炭化物、鉄にそれぞれ分離・回収します。それらは、新日鐵住金広畑やその他製鉄所などで原燃料に利用されます。</p> <p>リサイクル率は約 87%であり、残りの約 13%はキルン加熱用燃料です。そのため、同施設では油やガス、石炭などの燃料は購入していません。</p> <p>処理量は年間 6 万トンです。製鉄事業の原燃料改善や、化石燃料購入削減による CO2 削減に貢献しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	新日鐵住金株式会社広畑製鐵所 生産技術部 資源化推進室		
	担当者名	佐藤 毅典		
	連絡先	電話番号	079-236-5944	
		FAX	079-239-9293	
E メールアドレス		sato.752.takanori@jp.nssmc.com		

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	焼却処分とは異なる形で新たな資源としてリサイクルが可能
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	外部購入燃料抑制により、CO2 削減効果がある
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	「第 1 回エコプロダクツ大賞経済産業大臣賞(2004 年 12 月)」「地球温暖化防止活動環境大臣表彰(2006 年 12 月)」等を受賞し、事業 PR を実施。

15.2.3 技術情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	タイヤ	47,082	55,192	t
受入可能量	タイヤ	-	60,000	t
販売実績量の推移	重質油	4,812	5,992	kL
	軽質油	3,402	4,079	kL
	ガス	7,825	9,537	kNm3
	炭化物	13,546	15,914	t
	ワイヤ	8,197	11,011	t
主な調達先	JATMA 等			
主な供給先	新日鉄住金株			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	・キルン回転数最適化での炉内乾留条件の確立(製品品位安定化)			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	・各設備 SUS 化 ・油化配管径拡大			